

公益社団法人アルコール健康医学協会

平成 29 年度 事業報告書

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

1 事業概要

平成 29 年度の事業活動は、基本的にこれまでと同様、事業計画を基に、国民の健康の保持及びアルコール飲料に起因する疾病の予防並びにこれらと調和のとれた酒類産業の健全な発展に寄与するため、酒類業界等からの賛助会費・委託金・助成金、基本財産の運用益、出版物等の頒布収入等を活動資金として、また関係各機関と連絡、協議を行いながら、普及・啓発事業、助成金交付事業、調査研究委託事業及び酒類の広告審査事業等の各事業を実施した。

2 総務関係事業報告

1. 会員概況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

(1) 正会員	26名
浅見 敏彦	公益社団法人アルコール健康医学協会副理事長
石川彌八郎	全国地ビール醸造者協議会会長
伊東 貞	税理士法人さくらホールディングス代表社員・税理士
伊藤 洋	日本洋酒酒造組合専務理事
伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会専務理事
上田 茂	公益財団法人日本医療機能評価機構専務理事
江國 清志	全国卸売酒販組合中央会専務理事
岡南 啓司	日本蒸留酒酒造組合専務理事
岡本 佳郎	日本酒造組合中央会副会長
鹿島 晴雄	国際医療福祉大学大学院教授
行天 良雄	医事評論家
坂田 辰久	全国小売酒販組合中央会会長
雑喉 利祐	一般社団法人チェリー・ブロッサム代表理事
佐野 一重	公益社団法人アルコール健康医学協会前常務理事
滝本 修司	ビール酒造組合専務理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
田中 政信	公益社団法人日本婦人科医会顧問
玉木 武	公益社団法人アルコール健康医学協会前理事長
津久江一郎	医療法人せのがわ瀬野川病院会長
平山 宗宏	東京大学名誉教授
堀井 茂男	公益社団法人日本精神科病院協会副会長
南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役調査研究本部長
森 幹雄	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事
渡辺 哲	東海大学医学部客員教授
野崎 貞彦	日本大学医学部名誉教授
米井 元一	日本洋酒輸入協会理事長

(2) 賛助会員 団体会員 15者

(酒類業界等11者、製薬業界1者、病院2者、その他1者)

ビール酒造組合
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合
日本蒸留酒酒造組合
全国卸売酒販組合中央会
全国小売酒販組合中央会
日本洋酒輸入協会
日本ワイナリー協会
全国地ビール醸造者協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
医療法人(社団)新淡路病院
医療法人せのがわ 瀬野川病院
(一社)チェリーブロッサム

2. 理事会の開催について

(臨時理事会)平成29年5月29日(月)アルコール健康医学協会会議室

ア.出席理事 13名

議題 平成28年度事業報告書及び同収支決算について

(第1回通常理事会)平成29年6月15日(木)於日比谷松本楼

ア.出席理事 18名

イ.議題 正会員の入会について

ウ.報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務執行状況について

(第2回通常理事会)平成30年3月14日(水)於日比谷松本楼

ア.出席理事 16名

イ.議題 (1)平成30年度事業計画書及び同収支予算について

(2)平成30年度定時社員総会の開催・招集について

ウ.報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

3. 社員総会の開催について

(定時社員総会)平成29年6月15日(木)於日比谷松本楼

ア.出席社員 29名(委任状提出者を含む)

イ.議題 (1)役員の退任及び選任について

(2)平成28年度事業報告書及び同収支決算について

4. 企画委員会の開催状況について

(1) 構成員 企画委員 11 名 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

(任期：平成 28 年 11 月 8 日～平成 30 年 11 月 7 日)

伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 専務理事
亀井 慶承	日本酒造組合中央会 理事
酒井 洋	サッポロビール株式会社 総務部マネジャー
重盛 憲司	洗足メンタルクリニック 院長
高石 昌弘	東京医科大学 客員教授
田中 潤	サントリースピリッツ株式会社 事業企画部 グローバル ARS 担当部長
中板 育美	公益社団法人日本看護協会 常任理事
中村 道子	全国養護教諭連絡協議会 顧問
並木 茂夫	公益財団法人日本学校保健会 事務局顧問
松本 浩明	宝酒造株式会社 執行役員兼東京事務所長
水口 尚人	全国小売酒販組合中央会 政策部長

他に、専門委員 2 名

(2) 開催日時及び議題

《平成 29 年》

第 1 回 4 月 17 日 (月)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.23 No.1」企画案検討
2. 機関誌「お酒と健康」Vol.37 について
3. その他

第 2 回 6 月 7 日 (水)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.23 No.1」原稿読み合わせ
2. その他

第 3 回 **6 月 7 日 (水) 総会**

6/15 開催予定の通常理事会・定時社員総会等の議題について

- (1) 平成 28 年度事業報告書(案)・同収支決算(案)
- (2) その他

第 4 回 9 月 6 日 (水)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.23 No.2」企画案検討
2. その他

第 5 回 10 月 26 日 (木)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.23 No.2」原稿読み合わせ
2. その他

《平成 30 年》

第 6 回 1 月 15 日 (月)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol. 23 No. 3」企画案検討
2. その他

第 7 回 3 月 1 日 (木)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol. 23 No. 3」原稿読み合わせ
2. その他

第 8 回 3 月 1 日 (木) 総会

3/14 開催予定の通常理事会の議題について

- (1)平成 30 年度事業計画書(案)・同収支予算書(案)について
- (2)その他

3 業務関係事業報告

平成 29 年度においては、賛助会費等 38,160 千円、出版物等頒布収入 523 千円、基本財産運用益 1,183 千円、助成金 1,200 千円、委託金 6,500 千円等、計 47,621 千円をもって、次の事業を実施した。

【公 1 普及・啓発事業】

1. 普及・啓発資料の作成・発行事業

アルコール飲料に関する知識及び適正な飲酒習慣に関する思想の普及並びに未成年者の飲酒防止に関する啓発を内容とする機関誌、情報誌やリーフレット等を編集・作成した。

- ・ 機関誌「お酒と健康」第 37 号を 8 千部発行 (6 月)
- ・ 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol. 23 No. 1~No. 3 を計 2 万 2 千 2 百部発行 (7 月、11 月、3 月)
- ・ リーフレット「女性と飲酒」を 1 万部増刷 (4 月)

2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業

- ① 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター、国税局、税務署、酒類業界及び関係団体等へ機関誌、情報誌、講演会記録集等配付・頒布した。
- ② 当協会の活動方針と方向性を一にする内容をもつ学会・大会及び学校におけるアルコール健康教育に対し、先方からの求めに応じて、情報誌、小冊子、リーフレット等を提供した。
- ③ 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター等に対し出版物の値引き頒布及び送料無料キャンペーンを行ったところ 31 件 (計 5,890 部) の申込みがあった。

各種大会等に対する資料の提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
【平成 29 年】		
9 月 8～9 日	日本アルコール・アディクション医学会学術総会 日本アルコール関連問題学会	1,000 部
11 月 12 日	アルコール関連問題啓発フォーラム	500 部
11 月 14 日	第 7 回飲酒と健康に関する講演会	2,000 部

未成年者飲酒防止向け資料提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
《平成 29 年》		
8 月 18 日	第 27 回アルコール健康教育研修会	200 部
11 月 10 日	学校における飲酒防止教育支援研修会	800 部
【通年】	浦安市薬剤師会より資料提供依頼 神奈川県麻薬等薬物相談員会より資料提供依頼	2,000 部 3,900 部

3. インターネットによる情報提供

お酒と健康（飲酒の基礎知識、適正飲酒の 10 か条、飲酒運転防止、未成年者飲酒防止等）、アルコールと健康に関する最新の医学情報、お酒と文化等の情報をホームページで広く公開した。なお、平成 29 年度中のアクセス件数は、35,042 件であった。

4. 書籍の頒布事業

当協会作成・発行の情報誌、リーフレット等や書籍（シリーズ「酒の文化」、ハンドブック「アルコールと健康」、適正飲酒の手引き「お酒と健康ライフ」等）を低廉な価格で、一般消費者、地方公共団体等に販売した。

5. 後援事業

当協会の活動方針・目的に合致している内容をもつ学会・大会等のイベントに対し、先方からの要請に応じ、後援団体としての当協会の名義使用を認め、当該イベントを側面からバックアップした。

平成 29 年度は次の 8 件の後援等依頼があった。

- ・平成 29 年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」（内閣府）
- ・第 27 回「肝臓週間」（（公財）ウイルス肝炎研究財団）
- ・2017 年度未成年者飲酒防止教育学校コンクール（ビール酒造組合）
- ・第 27 回アルコール健康教育研修会（健康行動教育科学研究会）
- ・平成 29 年度学校における飲酒防止教育支援研修会（（公財）日本学校保健会）
- ・第 65 回精神保健福祉普及運動（厚生労働省）
- ・アルコール関連問題啓発フォーラム in 東京（厚生労働省）
- ・第 8 回未成年者飲酒防止・飲酒運転撲滅全国統一キャンペーン（全国小売酒販組合中央会）

6. 取材・問合せ等への対応事業

新聞・TV・雑誌等のメディア関係者や自治体、企業や一般消費者等から適正飲酒、飲酒運転・未成年者飲酒防止等に関する問合せや取材依頼、執筆依頼、講師依頼など数十件あった。

また、当協会ホームページへのリンクやホームページに掲載している適正飲酒の10か条、血中濃度と酔いの状態などの図表等について、新聞・TV・雑誌等のメディア関係者や自治体、企業等から新聞、雑誌やホームページ、広報誌、職員研修用資料などに使用掲載することについての許可依頼が20件程度あった。

7. 講演会・セミナー等事業

講演会の開催

平成29年11月14日（火）、第7回 飲酒と健康に関する講演会を開催した。

また、同30年2月には、講演会内容を取りまとめた記録集を3,000部作成し、関係者に配付した。

第7回 飲酒と健康に関する講演会

主催者	公益社団法人アルコール健康医学協会
開催日時	平成29年11月14日（火） 13:00～16:45
会場	発明会館地下ホール
参加者	110名
後援	文部科学省、厚生労働省、国税庁、公益財団法人日本学校保健会 健康日本21推進全国連絡協議会
講演内容	<ol style="list-style-type: none">「健康日本21（第二次）とアルコール健康障害対策の推進について」 厚生労働省 健康局健康課 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 参与 松崎 尊信「学校教育におけるアルコール健康教育－教科書記述の観点から－」 文部科学省 初等中等教育局 教科書調査官 奥田 浩嗣「今、学校に求められる未成年者飲酒防止教育」 公益財団法人日本学校保健会 事務局顧問 並木 茂夫「わが国の中高校生及び若者のアルコール使用の実態と課題」 鳥取大学医学部 環境予防医学分野 教授 尾崎 米厚「飲酒と肝疾患、適正量の飲酒とは」 自治医科大学附属さいたま医療センター消化器内科 浅部 伸一

8. 助成事業

当協会の活動方針とその方向性を一にする団体やその団体の実施するイベント等に対して酒類業中央団体連絡協議会の協力を得て、助成金の交付を行うことにより当協会のPR・活動の充実を図った。平成29年度は以下の(1)~(5)の5件。

(1) 第27回アルコール健康教育研修会への助成

主催者	健康行動教育科学研究会
開催日時	平成29年8月18日(金) 9:55~16:30
会場	東京工科大学蒲田キャンパス3号館
参加者	86名
講演等	講演Ⅰ 飲酒の問題点 衛藤 隆(東京大学名誉教授) 講演Ⅱ 未成年者における飲酒防止教育の進め方 小出彰宏(文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課健康教育調査官) 講演Ⅲ アルコールの人体影響 杠 岳文(独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター院長) 実践報告と意見交換

(2) 第39回日本アルコール関連問題学会への助成

主催者	日本アルコール関連問題学会 会長 樋口 進 (国立病院機構久里浜医療センター 院長)
開催日時	平成29年9月8日(金)~9日(土)
会場	パシフィコ横浜 会議センター
参加者	1,059名
講演等	「基本法を踏まえた依存症医療の前進」 シンポジウム 「アルコール健康障害対策基本法シンポジウム」 座長:辻本土郎、稗田里香 基調講演 A History of Alcohol Research within the National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism 座長:樋口 進

(3) 第52回日本アルコール・アディクション医学会学術総会への助成

主催者	日本アルコール・アディクション医学会学術総会 会長 岡村智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授)
開催日時	平成29年9月8日(金)～9日(土)
会場	パシフィコ横浜 会議センター
参加者	1,059名
講演等	「ポピュレーションリスクとしてのアルコール健康障害と依存」 シンポジウム 「飲酒と健康のトピックスと疫学的根拠」 座長：尾崎米厚、神田秀幸 教育講演 「アルコール健康障害対策基本法～その医療における展開と留意点～」 座長：堀江義則 演者：堀井茂男

(4) 学校等におけるアルコール健康教育教材（高校生用）作成事業への助成（一般社団法人東京都学校薬剤師会）

学校等において講演を行う際に使用するアルコール健康教育教材を作成する事業に対して助成金の交付を行った。

平成29年度は、高校生用アルコール健康教育教材のCDを800枚作成。会員に配布し普及啓発を行った。

(5) 未成年者の飲酒・喫煙防止及び薬物乱用防止教室等の啓発事業への助成（神奈川県麻薬等薬物相談員会）

主に神奈川県内で未成年者の飲酒防止等の活動を実施している神奈川県麻薬等薬物相談員会に対して、助成金の交付を行った。

平成29年度は小学生、中学生、高校生、大学生、保護者、教育関係者等を対象に計71か所、16,713名に対して講演が行われた。

【公2 学術事業】

アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集

平成17年度より、ビール酒造組合から委託を受け実施している事業であり、平成29年度においては、世界中の主要な医学雑誌や文献等からアルコールと健康に関する最新の医学情報を211件収集した。

なお、平成 28 年度上半期の論文要旨 123 件については平成 29 年 5 月に、平成 28 年度下半期の 106 件については同 11 月に、当協会ホームページに公開した。

医学情報収集に関するビール酒造組合からの委託事業

区分	
契約日	平成 29 年 4 月 1 日
契約期間	1 年毎
学術情報収集のための学術調査先	下記参照

アルコールと健康に関する最新の医学情報収集のための調査及びその整理

区分	担当者
疫学的な分野に関する学術情報の調査	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之 先生
病理・生理・薬理的な分野に関する学術情報の調査	元高崎健康福祉大学薬学部薬学科 教授 八田 慎一 先生
臨床・治療分野に関する学術情報の調査	慶應義塾大学看護医療学部 教授 加藤 眞三 先生

【公 3 広告審査事業】

- 平成 29 年度における酒類の広告・宣伝に関する消費者等からの苦情は 0 件、相談は 73 件（ノンアルコール飲料に関するものを含む）であった。
- 平成 29 年度の酒類の広告・宣伝に関するテレビ・新聞・雑誌等の業界策定自主基準の遵守状況等について審査委員会及び同実務者委員会をそれぞれ 2 回開催するとともにその結果を関係者に報告した。また、ノンアルコール飲料についても審査した。

(1)審査委員会及び同実務者委員会の委員（平成 30 年 3 月 31 日現在）

・審査委員会（委員長は井嶋一友氏）

井嶋 一友	弁護士
大木 美智子	一般財団法人消費科学センター代表理事
高石 昌弘	東京医科大学客員教授
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
乳井 昌史	エッセイスト

・実務者委員会（委員長は宍戸 旦氏）

亀井 慶承	日本酒造組合中央会理事
宍戸 旦	元公益社団法人日本広告審査機構参与
高橋 智広	ビール酒造組合審議役
田中 潤	日本洋酒酒造組合アルコール委員会委員長

手島麻記子	食文化研究家
並木 茂夫	公益財団法人日本学校保健会事務局顧問
松本 浩明	日本蒸留酒酒造組合社会環境小委員会委員
森 幹雄	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事

(2)委員会の開催状況

【審査委員会】

(第36回) 平成29年7月10日(月) 14:00~15:35 於KKRホテル東京

- 議題
1. 経過報告(苦情・問合せの状況)
 2. 第29回実務者委員会の報告
 3. 酒類広告の審査
 4. その他

(第37回) 平成30年1月23日(火) 15:20~16:40 於KKRホテル東京

- 議題
1. 実務者委員会委員の交代
 2. 経過報告(苦情・問合せの状況)
 3. 第30回実務者委員会の報告
 4. 酒類広告の審査
 5. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
 6. その他

【実務者委員会】

(第29回) 平成29年6月12日(月) 15:00~16:50 於アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. その他

(第30回) 平成29年12月14日(木) 14:00~15:30 於アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
4. その他

(3) 審査結果の概要の公開

審査委員会の審査結果の概要を第36回は平成29年8月に、第37回は平成30年2月に、酒類の広告審査委員会のホームページに公開した。